

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員

森田明彦

| | | | | |
|--------------|--|-------------|-----------------|--------|
| 実施月日 | 令和5年7月4日(火) | | | |
| 実施時間 | 13:00~14:35 | | | |
| 調査先 | 木更津市・陸上自衛隊木更津駐屯地 | | | |
| 調査所在 | 東京都新宿区市谷本村町5-1 | | | |
| 調査の目的 | V-22(オスプレイ)地上研修および航空機研修(CH47等) | | | |
| 調査先担当者 | 第一ヘリコプター団長 陸将補 廣瀬敏彦氏 他担当官 | | | |
| 内容・結果等 | 目的、佐賀空港への自衛隊輸送機オスプレイ配備計画が決定したことを踏まえ、相浦駐屯地や大村駐屯地に近い陸上自衛隊大野原演習場の一角を持つ嬉野市として飛行ルートや演習で使用される可能性やオスプレイ他機体についても知見を広げる必要がある。 | | | |
| | 内容、木更津駐屯地は敷地面積210万平方メートル(東京ドーム約45個分)現在約1000名を超える隊員が駐屯各部隊に所在し、第一ヘリコプター団をはじめとした部隊の航空機約70機が所在する駐屯地である。 | | | |
| | (団長表敬)二班に分かれ、駐屯地司令、陸将補 廣瀬敏彦氏を表敬訪問、 | | | |
| | (地上研修) V-22(オスプレイ)乗員3名+搭乗者24名、巡航速度:時速約465km、航続距離:約2600km、水陸機動団の輸送に重要な役割、災害救援や急患輸送でも能力を発揮。 | | | |
| | CH-47乗員3名+搭乗者55名の大型輸送機。機内に高機動車両を搭載して空輸も可能、また、最大55名の空輸能力は災害派遣時や救助活動でも強みになっている。 | | | |
| | EC-225LP 乗員2名搭乗者20名、巡航速度:時速280km、要人輸送ヘリで天皇陛下や総理大臣、国賓等の輸送に使われる。他、第一ヘリコプター団に配属の機種説明を受けた。 | | | |
| | 感想、佐賀空港へ配備される輸送機オスプレイを間近に見、性能や機能的な装備を体感、機動性と能力の高さなどの説明を受け、その他の機種についてもそれぞれの機能を発揮し、日本の国防に大きく貢献している事実と機種への知見を広げることが出来た。 | | | |
| | 上記活動に要した経費 | 経費の内容 | 支払先 | 金額(円) |
| | | 旅費・宿泊費 | 祐徳旅行株式会社(宿泊パック) | 60,930 |
| | | 旅費(東京⇒木更津駅) | 高速バス、JR 他 | 6,110 |
| 木更津駅⇒品川⇒新橋 | | 〃 | | |
| 新橋⇒防衛省⇒羽田空港) | | JR他 | | |
| | 合計 | | 67,040 | |

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員

森田明彦

| | | | | |
|--------|--|------------|-------|-----------|
| 実施月日 | 令和5年7月5日(水) | | | |
| 実施時間 | 10:00~11:00 | | | |
| 調査先 | 防衛省・防衛装備庁会議室 | | | |
| 調査所在 | 東京都新宿区市谷本村町5-1 | | | |
| 調査の目的 | 嬉野市議会防衛議員連盟と防衛省との意見交換 | | | |
| 調査先担当者 | 防衛省 防衛計画課長 伊藤伸哉 氏 運用調整参事官 菊池哲史 氏 施設計画課他 | | | |
| 内容・結果等 | 内容、二日目は防衛省本館にて、意見交換と疑問点の質問等を行い、冒頭、防衛省 大臣 官房審議官 北尾昌也 氏より歓迎の挨拶を頂きました。 | | | |
| | (1)佐賀配備に係る現状 | (伊藤防衛計画課長) | | |
| | ○ 厳しさが増す我が国の防衛体制の現状について | | | |
| | 我が国は、戦後、最も厳しく複雑な安全保障環境に直面、中国、北朝鮮、ロシアが軍事力を 増強しつつ軍事活動を活発化する中、我が国はその最前線に位置しています。 | | | |
| | ○ オスプレイが佐賀空港に配備される目的やその重要性とは | | | |
| | V-22は早い巡航速度と長い航続距離を有するとともに、高高度を飛行可能で我が国の 島嶼防衛能力を強化する上で不可欠な装備品。また、その高い能力を活用することにより、 災害活動や離島における急患輸送にも極めて有益。H30年に水陸機動連隊が配置されて いる佐世保市相浦駐屯地から近く、同連隊の島嶼部への迅速かつ効率的な輸送が可能。 | | | |
| | ○ 配備後の大野原演習場の利用の有無と飛行ルートについて (菊池運用調整参事官) | | | |
| | 有益な演習場であるが、九州の他の演習場もあることから今後調整が必要になる。 | | | |
| | 感想、外交には裏付けとなる防衛力が必要との説明のとおり我が国が直面する国防の意 味を改めて再認識した。更に佐賀空港への配備に伴い、最終的に700~800人が移ってこら れることで周辺地域の活性化にもつながると考える。 | | | |
| | 上記活動に要し た経費 | 経 費 の 内 容 | 支 払 先 | 金 額 (円) |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 合 計 | | | 0 | |

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること